

1 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。皆さん、明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。本日は、私の方から 2 点申し上げます。

- まずは、プラントの状況についてです。
5 号機につきましては、プラント全体の機能試験を実施しておりますが、先月 14 日までに最終評価を除くすべての試験項目を終了し、評価結果に問題がないことを確認いたしました。
その後、点検周期を超えて点検を実施していなかった設備が確認され、5 号機におきましてもその一部で未点検の設備が確認されたことから、発電機出力を一旦約 50% まで下げ、点検を行い安全上の問題がないことを確認しております。点検終了後には発電機出力を上昇し、現在、プラント全体の機能試験の最終評価に向け、定格熱出力にて安定運転を行っております。

3 号機につきましては、11 月 16 日から系統機能試験を開始し、全 26 項目の試験のうち、これまでに 11 項目について試験を終了し、問題がないことを確認いたしました。全燃料の装荷作業を終了し、現在、燃料装荷後に実施する系統機能試験や残りの耐震強化工事などを一つ一つ着実に実施しております。

また、7 号機の使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒でひびが認められた件につきましては、先日お知らせしました通り、現在点検が可能な使用済制御棒 50 本についての外観点検をすべて終了いたしました。これまでに確認されたひびは、いずれも構造強度に係る健全性評価や制御棒の挿入性等の技術基準適合性を含む安全性の評価に問題はないことを確認しております。この内容につきましては、昨日、原子力安全・保安院より妥当であるとの評価をいただきました。
今後、ひびの破面観察の結果や発生原因などについて、最終的な評価結果として取りまとめ、原子力安全・保安院へ報告するとともに、お知らせをしております。

- 2点目は、設備の点検周期を超えた事案についてです。

先月、保安検査において設備の点検周期を超えた事案に関する指摘を受け、その後、調査を進めているところです。昨年末にお知らせしたとおり、現時点で点検周期内に点検を行っていなかった、または今回の定期検査で点検を実施すれば点検周期を超えていないものの、点検計画に反映されていなかった機器などが確認されておりますが、未点検のものはいずれも点検を実施し、安全上の問題がないことを確認しております。

今回の事案については「過去において、評価結果を記録に残すというルールが十分に徹底されていなかったこと」、「点検実績を確認する時期が定期検査終了後となっていたこと」などに問題があり、反省すべき点があったと考えております。今回の反省を踏まえ、これまでに定めた技術評価のルールを再徹底するとともに、点検実績を確認する適切な時期への見直しや業務のシステム化への取り組みなど、再発防止対策を検討し、しっかりと改善してまゐる所存です。

プラント全体の機能試験を進めております5号機につきましては、至近の定期事業者検査等についての調査に引き続き、現在、その他の自主点検対象の機器や点検計画表における過去の記載内容についても調査を進めているところです。現時点では、プラントの安全性や設備の健全性に関わる事案は確認されておりませんが、そのような事案が確認された場合は速やかにお知らせしてまいります。

また、その他の号機についても同様の調査を継続的に進め、2月末までに原子力安全・保安院へ報告するとともに皆さまへもお知らせしてまいります。

- 最後に、現在、柏崎刈羽原子力発電所においては、中越沖地震後の復旧作業や耐震強化工事を最優先課題として、全力を挙げて取り組んでいるところです。その一方で、これまでに4基のプラントが運転を再開させていただいております。これはひとえに、報道関係の皆さまをはじめ、国や自治体関係者の皆さま、これまでにご支援をいただきました地域の皆さま、そして関係者の皆さまのお陰と考えております。

今年は、運転中のプラントと地震後の復旧プラントの両方を細心の注意を払いながら、安全を第一に運営管理を一步一步着実に進め、災害に強い世界に誇れる発電所となれるよう努めてまいりますので、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX

プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成23年1月)

平成23年1月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	運転中	第15回 H19.5.4～H22.8.4 停止期間 H19.5.4～H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第15回定期検査による停止													【7号機】 ・10月1日から漏えい燃料周辺の制御棒6本を挿入した状態で、定格熱出力一定運転中。(お知らせ済み) ・12月24日にハフニウムフラットチューブ型制御棒の動作確認を実施し、「異常なし」。次回の動作確認予定は1月下旬。 ・復水器室(管理区域)における水漏れの漏えい箇所を補修するため、11月23日より出力を下げていたが、補修作業の完了に伴い出力を上昇し12月8日から定格熱出力一定運転中。
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19～	第11回 H17.9.3～H18.5.9 停止期間 H17.9.3～H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止													
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19～	第9回 H18.5.12～H18.9.15 停止期間 H18.5.12～H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止													
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11～	第9回 H18.4.9～H19.1.11 停止期間 H18.4.9～H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止													
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24～H22.11.25 現在調整運転中	第11回 H17.7.4～H17.11.2 停止期間 H17.7.4～H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止													
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第9回定期検査中 停止期間:H22.10.31～	第8回 H19.5.24～H22.1.19 定検停止期間:H19.5.24～H21.8.31 (831日) H21.12.26～H22.1.8 (14日) (原子炉起動H21.1.6)	第9回定期検査による停止													
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第9回 H22.4.18～H22.7.23 H22.4.18～H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第9回定期検査による停止													

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (12月末現在)

12月	42.6%
22年度累計	36.5%
運転開始後累計	64.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (12月末現在)

12月	260,173
22年度累計	1,978,451
運転開始後累計	83,682,711

④ ドラム缶発生量(本) (H22年度第2四半期)

当期発生本数	966
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,533
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H22年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,820
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (1月4日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	871	2,764	53%
	刈羽村	82	265	5%
	その他	105	974	16%
	小計	1,058	4,003	74%
県外		93	1,679	26%
合計		1,151	5,682	—
		6,833		100%
協力企業社数(社)		817		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (12月末現在)

	12月	年度累計
地元	758	15,169
県内	485	12,493
県外	1,633	27,201
国外	68	684
合計	2,944	55,547

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
1月20・21日	第144回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
1月20・27日	フラエクササイズ(柏崎エネルギーホール)
1月22日	Comfy サイエンススクール(カムフィー)
2月5日	いんのこまつり(き・な・せ)
2月10日	次回定例所長会見予定

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成23年1月13日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	12月2日	4号機	タービン建屋（管理区域）における点検中機器の養生部からの油漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の4号機において、平成22年12月1日午後11時45分頃、タービン建屋地下3階（管理区域）の高圧制御油圧ユニット室において、本格点検のために分解して点検を行っていた高圧油ポンプ（A）の配管接続部の開口部養生部から油がポンプ台座部分の堰内に漏れていることを、現場パトロール中の当社社員が発見しました。 油の漏れはすでに停止しており、堰内に漏えいたした油の量は約140ミリリットルでした。 この油は高圧油ポンプ（A）内に残留していた油で、漏れた油は拭き取りにより処理いたしました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏えいたした油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 原因を調査した結果、開口部の養生テープの巻き方が不十分であったことがわかりました。当該開口部については、取り外していた配管を接続して、復旧しました。</p>
②	12月27日 1月7日	7号機	使用済燃料プールにおける異物らしきものの発見について（区分その他） 使用済燃料プールで発見された異物の回収について（続報）（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 当所7号機原子炉建屋4階の使用済燃料プールにおいて、平成22年11月8日より使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒の点検作業を実施しておりますが、平成22年12月26日午後0時30分頃、点検していた同型使用済制御棒1本の表面の冷却孔付近に、線状の異物らしきもの1本が、引っかかり付着していることを発見しました。 今後、準備が整った段階で、発見した異物らしきものを回収して、異物らしきものが何かを特定することとしておりました。 (平成22年12月27日お知らせ済み)</p> <p>（安全性、外部への影響） 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） その後、回収準備が整ったことから、平成23年1月6日に、当該の異物らしきものを粘着テープで付着させて回収し、金属製の線状の異物（長さ：約32mm、直径：約0.3mm）であることを確認しました。</p> <p>回収した金属製の線状の異物を確認した結果、ワイヤブラシと思われる金属製の素線であること確認しました。 なお、7号機では、既に原子炉への異物混入防止対策としてワイヤブラシ等の使用を禁止していることから、異物混入防止対策を実施する前に混入したワイヤブラシと思われる金属製の素線が、制御棒の冷却孔付近に引っかかり付着したものと推定しております。 今後も引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。</p>
③	1月12日	1号機	原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—